



農林大学校の動き(H30年1月)

2018. 2. 15

島根県立農林大学校 (担当:教育部 松本)

TEL:0854-85-7011 FAX:0854-85-7113

<http://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

農林大の学生達の日頃の活動状況、いろいろな行事などを簡単にご紹介します。



○有機農業専攻地域農業実習を実施(12/14)

有機農業専攻の学生 16 名(2 年生:7 名、1 年生:9 名)で奥出雲株式会社仁多米と農事組合法人ゆとりの里下古志ファーム 13 を見学した。両社が取り組んでいる差別化のための独自の販売方法やブランド化を学んだ。

○卒業論文発表会開催(1/15)

2 年生 25 名が 2 年間かけてまとめた卒業論文を発表。研究成果に対する学生や職員の数々の質問に丁寧に答えていた。



○第 2 回日本農業技術検定(12/9)の結果

2 級 6 名、3 級 8 名が合格し、3 級取得者が 90%、2 級以上取得者が 18% となった。難関の 1 級の合格者はいなかった。

○農業法人協会と農林大生の交流会を実施(1/17)

法人協会 9 社の経営概要について説明を受けた後、3 グループに分かれて意見交換を行った。参加学生は 1 年生を中心に就農希望の 32 名。「社会人としてのマナーの重要性について」等貴重な助言・提言を頂いた。



○卒論発表会を開催(1/17:中山間地域研究センター)

林業科 2 年生による卒業論文の発表会を中山間地域研究センターの研究員や県内の林業関係職員ら約 30 名の参加を得て開催し研究の成果を披露した。

○しまね和牛研修会に参加(1/17)

肉用牛専攻の学生 4 名(2 年:2 名、1 年 2 名)が、公益財団法人全国和牛登録協会 向井会長 の講演を聞き、今後の育種改良の方向性や次回第 12 回全共へ向けた取組等を学んだ。



○護身術講習会を開催(1/18)

女子学生が自分の身を守るための護身術について、大田警察署員から実技指導を受けた。参加者は真剣に受講していた。

○農林大学校飯南寮で防災・避難訓練を実施(1/19)

夜間に飯南寮 1F からの出火の想定で、消防署や職員への通報・連絡から初期消火、避難まで、寮生 14 名と職員 3 名が参加し、訓練を行った。



○花き専攻でハウレンソウを播種(1/19)

施設園芸では、様々な作物を組み合わせる複合経営が広く行われており、花き専攻でも将来複合経営を検討している学生がいることから、この度、年末ギクの後作にハウレンソウを播種。有機専攻 2 年生の指導の下、作業を行った。

1月号(その2)



○中国四国ブロック農業大学校等プロジェクト発表会(1/25、26:出雲市)

2年生2名がプロジェクト発表、1年生1名が意見発表を行った。

【プロジェクト発表タイトル】

- ・水田放牧による耕作放棄地の有効活用の検討(肉用牛専攻)
- ・オープンフェイスノッチの安全性についての検証(林業科)

【意見発表タイトル】

- ・牛と自然と人間が、無理をしないでやれる畜産(肉用牛専攻)

審査の結果、林業科2年生の永井祐功が優秀賞に選ばれた。島根県立農林大学の学生が優秀賞に選ばれたのは3年連続

皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。